

南相馬市復興関連事業概要

目次



【新規事業】

1. 地域子育て支援拠点施設整備事業 … P3
2. 複合型園芸施設整備事業 … P4

【継続事業】

3. 産業団地等整備事業(小高復興産業団地、飯崎産業団地、下太田工業団地[拡張]外) … P5
4. 園芸作物集出荷団地整備事業 … P6
5. ほ場整備事業(土地改良事業) … P7
6. 道路整備事業(県道・市道) … P9

【完了事業】

7. 小高園芸団地整備事業 P11
8. 大型園芸施設整備事業 … P12
9. 真野川漁港整備事業 … P13
10. 防潮堤・防災林の整備 … P15
11. 農業交流施設整備事業 … P17
12. 大型乾燥調製貯蔵施設整備事業 … P18
13. 小高区子どもの遊び場整備事業 … P19
14. 子どもの遊び場整備事業(原町区・鹿島区) … P21
15. 小高区認定こども園整備事業 … P23
16. 鹿島体育館整備事業 … P24
17. 北泉海浜総合公園整備事業 … P25
18. 南相馬市テニスコート整備事業 … P27

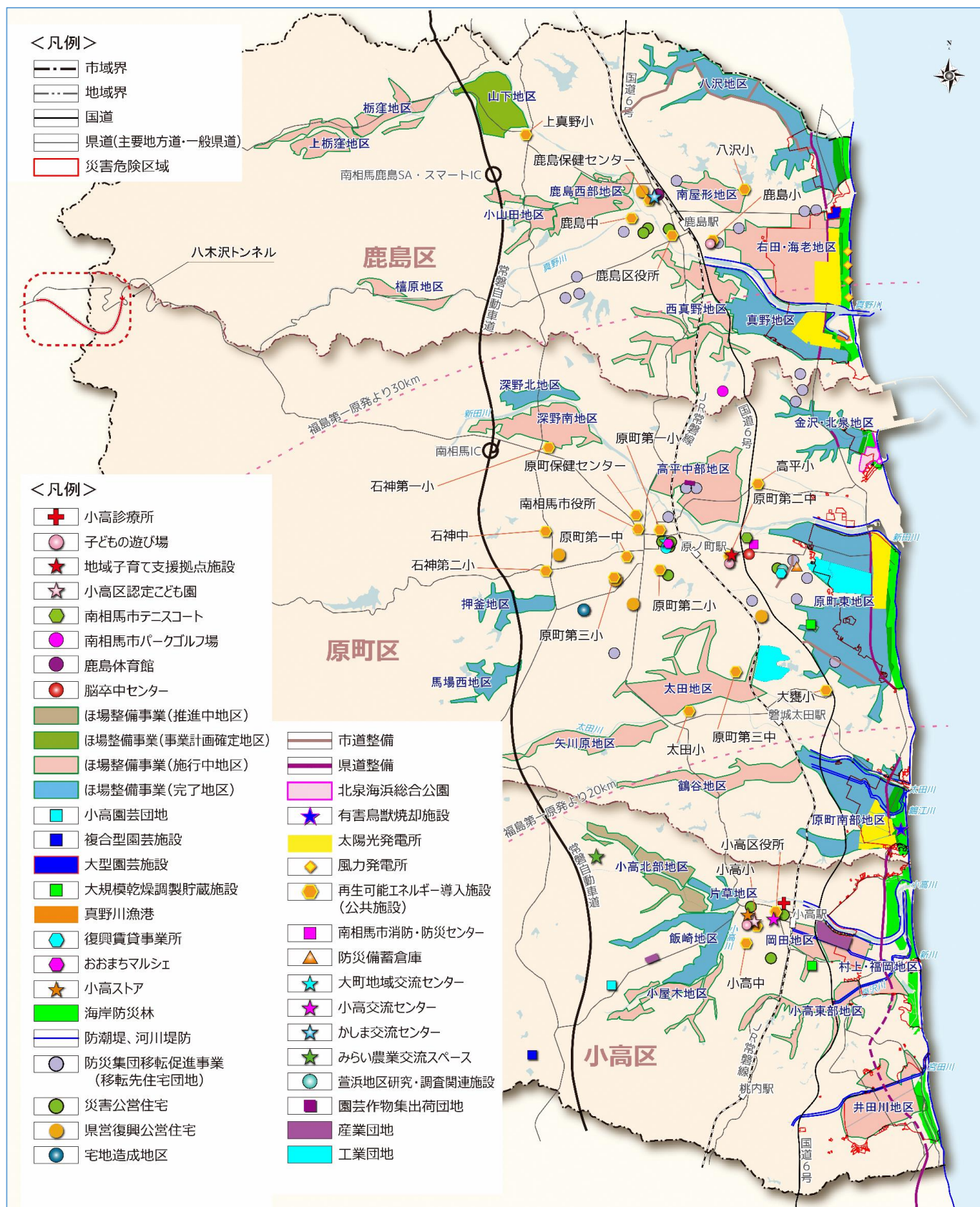
19. 南相馬市パークゴルフ場整備事業 … P28
20. 小高診療所(無床)整備事業 … P29
21. 脳卒中センター整備事業 … P30
22. 工業団地(福島ロボットテストフィールド)整備事業 … P31
23. 復興賃貸事業所整備事業 … P33
24. 小高区商業施設整備事業 … P34
25. 大町地域商業施設整備事業 … P35
26. 長期避難者生活拠点(県営復興公営住宅)整備事業 … P36
27. 防災集団移転促進事業 … P37
28. 災害公営住宅整備事業 … P38
29. 大木戸住宅団地宅地造成事業 … P39
30. 八木沢トンネル整備事業 … P40
31. 有害鳥獣焼却施設整備事業 … P41
32. 南相馬市消防・防災センター整備事業 … P42
33. 防災備蓄倉庫整備事業 … P43
34. 再生可能エネルギー基地整備事業 … P44
35. 公共施設再生可能エネルギー等導入事業 … P45
36. 大町地域交流センター整備事業 … P46
37. 小高区復興拠点施設整備事業 … P47
38. かしま交流センター整備事業 … P49
39. 萱浜地区研究・調査関連施設整備事業 … P50

南相馬市の復興関連事業



南相馬市における復興財源を活用して整備した施設、インフラなどの復興事業をまとめたものです

各種事業の位置図



1. 地域子育て支援拠点施設整備事業（新規）



子育て家庭の交流、相談、一時預かり、乳幼児健診等、一元的に子育てサービスを提供する「地域子育て支援拠点施設」を整備します。

事業概要

- こどもや保護者同士の交流、子育て相談、一時預かり（日・祝日含む）、乳幼児健診、災害時の避難所利用など、一元的に子育てサービスを提供します。
- 施設では、子育て親子の交流促進、子育ての負担や不安の軽減のほか、様々な親子が快適に利用できるインクルーシブな場を目指します。また、親子で参加できる楽しいイベントや子育て講座の開催等により、地域との関わりが持てる機会を提供します。

施設概要（予定）

- (1) 所在地 原町区高見町二丁目22番地7
- (2) 敷地面積 2,692.93㎡
- (3) 延床面積 991.89㎡
- (4) 施設構造 木造平屋建
- (5) 駐車台数 40台
- (6) 施設内容

目的	主な施設	面積
交流	コミュニティ広場	159㎡
	だれでも交流広場	161㎡
相談等	相談室	9㎡
	ことばの教室	9㎡
	作業室等	61㎡
	講習室	229㎡
一時預かり	預かり保育室 （幼児用トイレ等含）	41㎡
共用・事務 スペース	授乳室	10㎡
	おむつ替えコーナー	10㎡
	多目的トイレ	5㎡
	事務スペース等	73㎡



完成イメージ



スケジュール

項目	6年度	7年度
基本設計・実施設計	→	
建設工事		→

・ 令和8年度開所予定

事業費（見込）

総事業費	約9.2億円	福島再生加速化交付金、子ども・子育て支援交付金、福島県被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業補助金（屋内遊び場確保事業）
------	--------	---

担当部署

- 南相馬市こども未来部こども家庭課こども企画係
Tel.0244-24-5229

2. 複合型園芸施設整備事業（新規）



農業者の収益を安定化し営農再開を図るため、小高区に複合型園芸施設を整備します。

事業概要

- 農業で安定的な収益が得られる環境を整えることで、農業者の営農意欲を向上させ営農再開を促進するための施設として、安定した品質の農産物を栽培できる高品質苗を生産する「育苗施設」及び農産物に高い付加価値を付ける「農産物加工施設」からなる複合型園芸施設を整備します。

施設概要（予定）

- 所在地
小高区川房地内
- 敷地面積
約26,250㎡
- 主な整備予定内容

① 育苗施設

（延床面積約1,670㎡ 鉄骨ハウス1棟）

- 園芸作物の産地化を見据え、機械による移植に対応できる高品質苗の生産を行います。
- 育苗の工程は高度に自動化・効率化を図り、市外からの新規営農者や既存の農業者の必要とする規格、規模に対応できる施設とします。

② 農産物加工施設

（延床面積約4,280㎡ 鉄骨造り 1階建て）

- 農産物の1次加工（洗浄等）、2次加工（皮むき、芯抜き、カットなど）のほか、冷凍製品、流動食などの3次加工による規格化された商品としてパッケージ・梱包を行います。小売業界の求める農産物加工品の要望に対応できる施設とします。
- 既存の地域流通と連携できるよう大手コンビニや飲食チェーンなどの全国規模展開を見据え、南相馬市産のPRを行います。

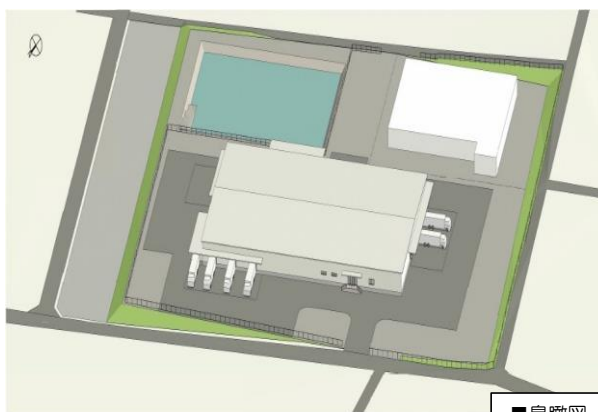


スケジュール

項目	令和6年度	7年度
実施設計	→	
整備工事		→

・令和8年度供用開始予定

完成イメージ



■鳥瞰図



■外観図（北側より）



■外観図（西側より）

事業費

総事業費	約50億円	福島再生加速化交付金
------	-------	------------

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課施設調整係
Tel 0244-44-6809

3. 産業団地等整備事業（小高復興産業団地、飯崎産業団地、下太田工業団地[拡張]外）（継続）



企業誘致等をさらに推進するため、市内に新たな産業団地等を整備します。

事業概要

- ・ 南相馬市のさらなる復興を遂げるためには、小高区における居住人口を増加させる取組と企業誘致等の推進が必要です。
- ・ 市内4か所の工業団地のうち、新たな交渉が可能な空区画は残り僅かである一方、多くの企業から産業用地の問い合わせがある状況です。引き続き、市内産業用地への関心も高いことから、小高区に新たに産業団地を2箇所整備するとともに（うち飯崎産業団地は整備完了）、下太田工業団地の拡張、復興工業団地の継続整備を行い、企業誘致等を通じた市内産業の振興・発展および帰還・移住を促進します。

【小高復興産業団地（フロンティアパーク）】

- ・ 整備地 小高区川原田地区等
- ・ 用地面積 約14ha

【飯崎産業団地】（整備完了）

- ・ 整備地 小高区飯崎地区（旧金房小学校跡地等）
- ・ 用地面積 約3.2ha

【下太田工業団地 [拡張]】

- ・ 整備地 原町区下太田地区
- ・ 拡張面積 約1.4ha 既整備分13.3ha

【復興工業団地 [3工区]】

- ・ 整備地 原町区佐佐・萱浜地区
- ・ 拡張面積 約2.2ha 既整備分45.6ha



スケジュール

団地名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小高復興産業団地 （フロンティアパーク）					
飯崎産業団地				R6～ 供用開始	
下太田工業団地 [拡張]					R7.8～ 供用開始
復興工業団地 [3工区]					

事業費

【小高復興産業団地（フロンティアパーク）】

総事業費	約70億円	福島再生加速化交付金
------	-------	------------

【飯崎産業団地】

総事業費	約4.3億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

【下太田工業団地 [拡張]】

総事業費	約5.2億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

【復興工業団地[3工区]】

総事業費	約3.6億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

事業イメージ



※小高復興産業団地（フロンティアパーク）の事業イメージです。

担当部署

- ・ 南相馬市商工観光部 商工労政課企業立地係（産業団地整備担当）
TEL 0244-24-5346

4. 園芸作物集出荷団地整備事業（継続）



農業者の所得向上と営農意欲の維持向上を図るため、原町区内に園芸作物集出荷団地を整備します。

事業概要

- 生産・流通・販売等の各工程に付加価値をつけ、農業者の経営の安定化を図り営農意欲向上に繋げるための拠点施設として、園芸作物集出荷団地を整備します。

施設概要

- 所在地
原町区上高平字柳町地内
- 敷地面積
約19,300㎡
- 主な整備予定内容
 - 集出荷貯蔵施設（延床面積約4,290㎡ 鉄骨造り 2階建て）
 - 選果場、予冷库、事務室等からなり、大規模農業者から多量の農産物を集荷し、鮮度を維持したまま効率的に市外へ流通させます。
 - 鮮度や大きさ、形状などの出荷規格の統一化が行え、効率的な物流ができる施設とします。
 - 卸売市場（延床面積約1,510㎡ 鉄骨造り 2階建て）
 - 卸売場、仲卸売場、買荷保管所、積込所、事務室等からなる施設。
 - 市内だけでなく、周辺市町村の中小規模農業者も対象として、農産物出荷の質・量・時期を定めた契約販売を進めるとともに、集荷機能を強化します。
 - 情報通信技術を活用した集荷・分荷・保管・出荷の過程を効率的に管理します。
 - 国内外の農産物需要・取引動向の調査、導入可能性の分析、マーケティング等の調査研究、戦略の企画、遠隔地への市内農産物のPR展開等を行います。
 - 市民等に対して、市内農産物や地産地消、食育等に関する展示案内等により情報発信を行うとともに、子どもたちへの食育プログラム等を行います。
 - 農産物加工施設（延床面積約840㎡ 鉄骨造り 2階建て）
 - 農産物の1次加工（洗浄等）、2次加工（皮むき、芯抜き、カットなど）のほか、フリーズドライなどの3次加工による規格化された商品としてパッケージ・梱包を行います。



スケジュール

項目	令和5年度	6年度	7年度
実施設計	→		
整備工事		→	

事業費

総事業費	約71億円	福島再生加速化交付金
------	-------	------------

完成イメージ



担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課施設調整係
Tel 0244-44-6809

5. ほ場整備事業（土地改良事業）（継続）

農地を県営の復興基盤総合整備事業（土地改良事業）により再整備し、農業の再生と振興を図ります。

事業概要

- 南相馬市の農業生産基盤は、東日本大震災により、特に津波被災地は壊滅的な被害を受けました。
- 地元の農家の方々との話し合いにより、土地改良事業を実施することとなった地区を整備します。
- 集落内の法人組織で取り組みを進めている大規模効率化の支援と、将来の農業者に本市の農業生産基盤をしっかりと引き継いでいくことを目的としています。
- 農地整備（大区画化、汎用化）、用排水施設整備（パイプライン、ため池など）、農道整備を行い、効率的で安定的な農作業が行えるようにします。
- 農地整備などのハード事業の実施に併せて、ソフト面での支援事業（担い手づくりや農地の集積による作業の効率化など）も実施します。
- 津波被災地においては、通常の土地改良事業に加え、必要となる震災関連事業（海岸堤防、海岸防災林、河川堤防、再生可能エネルギー基地、工業団地など）を実施します。ほ場整備事業の換地（土地の権利の移動・集積）の手法により新たな土地活用を図ります。



各地区の整備面積等（施工中地区）

区	地区名	受益面積	地区内で整備予定の復興関連事業
鹿島区	右田・海老	235.8ha	防災林、再エネ基地
	鹿島西部	98.8ha	
	西真野	134.1ha	
	南屋形	44.3ha	
	栃窪	49.3ha	
	上栃窪	71.2ha	
	檜原	27.6ha	
原町区	小山田	49.5ha	
	深野南	94.6ha	
	矢川原	67.3ha	
	太田	157.0ha	
	高平中部	152.0ha	
小高区	鶴谷	75.3ha	
	小高東部	85.0ha	
	岡田	32.1ha	
	井田川	111.0ha	
	小屋木	62.8ha	
	村上・福岡	54.1ha	小高復興産業団地

※左記以外においても、土地改良事業の推進に向けて、地域の方々と関係機関と協議を進めている地区があります。

ほ場整備完成イメージ



※右田・海老地区のほ場整備事業の完成イメージです。実際の完成時とは異なる場合があります。



スケジュール

地区名	項目	～30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
八沢	計画策定	H25採択							
	設計	設計済							
右田・海老	整備工事								
	計画策定	H25採択							
真野	設計	設計済							
	整備工事								
西真野	計画策定	→							
	設計								
鹿島西部	整備工事								
	計画策定	→							
南屋形	設計								
	整備工事								
栃窪	計画策定								
	設計								
上栃窪	整備工事								
	計画策定								
櫛原	設計								
	整備工事								
小山田	計画策定								
	設計								
山下	整備工事								
	計画策定								
金沢・北泉	設計	H25採択							
	整備工事	設計済							
原町東	計画策定	H25採択							
	設計	設計済							
原町南部	整備工事								
	計画策定	H12採択							
深野北	設計	設計済							
	整備工事								
深野南	計画策定								
	設計								
押釜	整備工事								
	計画策定	H18採択							
太田	設計	設計済							
	整備工事								
馬場西	計画策定	H30採択							
	設計								
矢川原	整備工事								
	計画策定	H28採択							
鶴谷	設計								
	整備工事								
高平中部	計画策定	H30採択							
	設計								
飯崎	整備工事								
	計画策定	H22採択							
小高東部	設計	設計済							
	整備工事								
片草	計画策定	H30採択							
	設計								
岡田	整備工事								
	計画策定								
井田川	設計								
	整備工事								
小屋木	計画策定								
	設計								
村上・福岡	整備工事								
	計画策定								

担当部署

【ほ場整備に関すること】

- ・ 福島県相双農林事務所農村整備部

Tel 0244-26-1157

【市内の事業に関すること】

- ・ 南相馬市農林水産部農地集積課農地再生係

Tel 0244-44-6803

6. 道路整備事業（県道・市道）（継続）

津波により大きな被害を受けた県道浜街道を陸側に移設し、また、宅地の移転等に伴い一部の

事業概要

【県道】

- 津波で大きな被害を受けた沿岸県道（浜街道）を再整備しました。
- 道路の幅は6.0（10.0）mの片側歩道で整備しました。
- 原発から20km圏内のルートについては道路の幅を6.5（10.5）mの片側歩道で整備しています。

【市道】

- 防災集団移転促進事業や土地改良事業（ほ場整備事業）の実施に併せて一部の市道（2－8号線、高見町北萱浜線、萱浜零線外の3路線）の整備を行いました。
- 国道6号と県道原町海老相馬線を結ぶ幹線道路（1－7号線外）を整備しました。

※ 県道・市道共に、災害復旧（震災で被害を受けた道路を元に戻すこと）した路線はここには記載されていません。

※ ここに記載されているもの以外に、防災集団移転促進事業により整備された住宅団地の構内道路として一部拡幅される市道があります。



（20km圏内）



県道（浜街道）整備概要



- 津波により大きな被害を受けた浜街道（県道原町海老相馬線及び北泉小高線）を再度整備しました。

- 震災前とルートが変わるのは、図に記載の八沢付近及び雫付近です。両箇所とも防災林や農地の整備にあわせて、内陸側に移設しました。

- これ以外の箇所は道路の位置は変わりませんが、沿道の利用状況等により一部道路の高さが高くなる箇所があります。

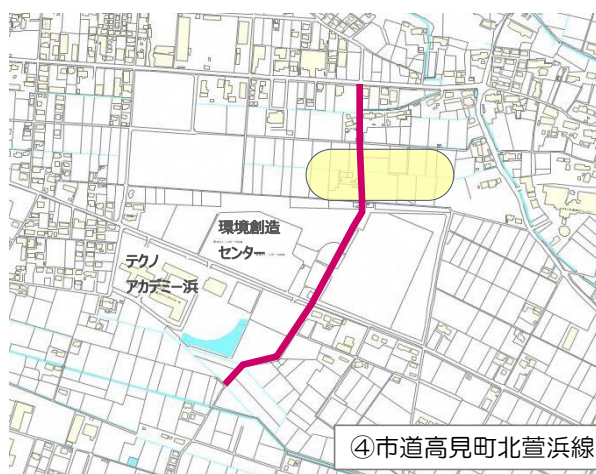
——— 新たに完成したルート（県道）

..... 元々のルート



市道も拡幅や路面舗装などの整備を行いました。

市道整備概要



整備ルート（市道）

防災集団移転促進事業による住宅団地

路線ごとの整備概要

整備主体	路線名	地区名	道路延長	道路幅	備考
県道	① 原町海老相馬線	烏崎外	3.7km	6.0(10.0)m	H30年度完成
	② 北泉小高線	萱浜	3.8km	6.0(10.0)m	H29年度完成
市道	③ 2-8号線	八沢	0.5km	4.0(5.0)m	H29年度完成
	④ 高見町北萱浜線	上渋佐	0.9km	4.0(5.0)m	H28年度完成
	⑤ 萱浜零線外	雫	1.9km	6.0(9.75)m	R元年度完成
	⑥ 1-7号線外	南柚木外	6.0km	6.0(10.0)m	R4年度完成

事業費

県整備分	約42億円	復興交付金
市整備分	約8.8億円	復興交付金
	約23億円	社会資本整備総合交付金

担当部署

【県道の整備に関すること】

- 福島県相双建設事務所復旧・復興部道路・橋梁課
Tel 0244-26-1222

【市道の整備に関すること】

- 南相馬市建設部 土木課事業係
Tel 0244-24-5252

7. 小高園芸団地整備事業（完了）



小高区の営農再開と帰還促進のために小高園芸団地を整備しました。

事業概要

- 南相馬市小高区の営農再開と帰還促進を支援するために、水稻育苗施設ときゅうり等の栽培及び集出荷施設を一体的に整備しました。

施設概要

- 所在地
小高区飯崎及び大田和地内
- 敷地面積
38,431.9㎡
- 整備内容
 - 鉄骨ハウス（約5,810㎡ 3連棟×5棟）
水稻の苗を育てるハウスです。また、水稻育苗期間終了後には、キュウリの簡易養液栽培をします。
 - パイプハウス（約12,000㎡ 38棟）
キュウリの養液土耕栽培を行うハウスです。また、キュウリの裏作でスナップえんどうを栽培します。
 - 集出荷複合施設
（延床面積約1,820㎡ 鉄骨造り 2階建て）
水稻の種もみの播種から芽出しまでを一連で行う施設です。芽出した苗は、①の鉄骨ハウスに移動します。また、①の鉄骨ハウスと②のパイプハウスで育てたキュウリとスナップえんどうや、周辺の農家が栽培する野菜等の集出荷も行います。



スケジュール

完成写真

項目	令和元年度	3～4年度	5年度
設計	→		
整備工事		→	
稼働開始※			→

※令和3年末から一部稼働、令和5年度から全面稼働。



事業費

総事業費	約19億円	福島再生加速化交付金
------	-------	------------

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課施設調整係
Tel 0244-44-6809

8. 大型園芸施設整備事業（完了）



津波や原子力発電所事故により大きな被害を受けた市の農業を復興するため、大型園芸施設を整備し、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいます。

事業概要

- 津波や原発事故により被災した農業者の早期の営農再開と風評被害克服のため、園芸施設（養液栽培）を整備しました。
- 整備した土地は防災集団移転促進事業の移転元地として被災した方々から市が買取りを行った土地を活用しています。
- 市が復興交付金を活用して園芸施設の整備を行い、施設を運営する農業法人を公募し、選定された法人に施設を貸与します。
- 施設を貸与された法人は、施設を使って野菜の生産と出荷に取り組めます。



【園芸施設の概要】

所在地	鹿島区南海老字西畑77番地の1
地区面積	5ha
施設の種類	連棟型ハウス（水耕栽培）

スケジュール

地区	項目	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
南海老地区	用地確保		→			
	運営者公募		→			公募型プロポーザルにより選定
	施設整備			→	→	公募型プロポーザルにより選定
	営農開始				→	平成28年夏より生産開始

完成写真



- 施設は、大規模で連棟化された鉄骨ハウスです。
- 栽培は水耕栽培であり、小ネギ、カキチシャ、トマトを周年栽培しています。
- 地域の雇用の受け皿として、50名程度の雇用が創出されています。

事業費

総事業費	約16億円	復興交付金
------	-------	-------

今後の推進方針

- 本市における植物工場や園芸施設の推進にあたり、今後の事業展開や、支援の在り方について検討し、本格的な営農再開と市農産物の市場流通に向けた取り組みを継続的に進めていく予定です。

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課振興係
Tel 0244-44-6807

9. 真野川漁港整備事業 (完了)

津波により大きな被害を受けた真野川漁港を、漁業が再開できるよう再整備しました。

事業概要

- 津波により大きな被害を受けた真野川漁港を再整備します。再び漁業が行えるように整備し、水産物の安定供給を図ります。
- 本格的な操業再開に向けて、次の施設を整備しました。
 - ① 漁船保全修理施設
 - ② 作業保管（漁具倉庫）施設
 - ③ 作業保管（作業場）施設
 - ④ 水産物鮮度保持（製氷貯氷）施設
 - ⑤ 水産物荷さばき施設
 - ⑥ 海水処理施設
 - ⑦ オイルフェンス等保管施設



スケジュール

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
設計業務	→						
漁船保全修理施設	→						
作業保管（漁具倉庫）施設		→					
作業保管（作業場）施設		→	→				
水産物鮮度保持（製氷貯氷）施設			→				
水産物荷さばき施設		→	→				
海水処理施設			→				
オイルフェンス等保管施設			→	→	→	→	→

施設の規模

施設の名称	規模	構造等	備考
①漁船保全修理施設	24.3㎡	木造平屋建て	26年3月完成
②作業保管（漁具倉庫）施設	973.8㎡	木造平屋建て	27年3月完成
③作業保管（作業場）施設	600.0㎡	鉄骨平屋建て	28年3月完成
④水産物鮮度保持（製氷貯氷）施設	97.0㎡	鉄骨3階建て	28年3月完成
⑤水産物荷さばき施設	995.3㎡	鉄筋コンクリート2階建て	28年3月完成
⑥海水処理施設	51.5㎡	鉄骨地下1階	28年3月完成
⑦オイルフェンス等保管施設	54.0㎡		令和2年3月完成

事業費

総事業費	約10億円	復興交付金
------	-------	-------

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課振興係
Tel 0244-44-6807

真野川漁港完成写真



整備施設の内容

- | | |
|-------------------------------------|--|
| ① 漁船保全修理施設
※平成26年3月完成 | 修理や点検が必要となった船を上架する（陸に引き揚げる）ための施設です。海からのスロープにより、船を載せる台車（架台）、引き上げるためのワイヤーとウインチなどが整備されました。 |
| ② 作業保管（漁具倉庫）施設
※平成27年3月完成 | 漁に用いる漁具や漁網を共同で保管しておくための倉庫です。 |
| ③ 作業保管（作業場）施設
※平成28年3月完成 | 漁港における様々な共同作業を行うための施設です。これまでと異なり集落と漁港の距離が離れるため、この施設の中で様々な作業を行います。 |
| ④ 水産物鮮度保持
（製氷貯氷）施設
※平成28年3月完成 | 水揚げした水産物の鮮度保持に必要な「氷」を作り供給する施設です。3階で製氷しトラックや保管庫に直接「氷」を入れられるよう1階部分には車が停められ、2階から氷が落ちてくる仕組みです。 |
| ⑤ 水産物荷さばき施設
※平成28年3月完成 | 水揚げされた水産物を出荷するための施設です。1階は市場に相当する施設、2階には事務室や会議室などが整備されています。 |
| ⑥ 海水処理施設
※平成28年3月完成 | 海から海水をろ過しながら取水する施設です。 |
| ⑦ オイルフェンス等保管施設
※令和2年3月完成 | 真野川から漁港へごみ等の流入を防ぐためのオイルフェンス等を収納保管するための施設です。 |

10. 防潮堤・海岸防災林等の整備 (完了)

将来予想される津波から市民の生命と財産を守るため、市の沿岸部に防潮堤や海岸防災林等を

事業概要

【防潮堤】

- ・市の沿岸部に防潮堤を整備します。防潮堤は従前の標高6.2mから1m嵩上げし、標高7.2mの高さで整備しました。
- ・防潮堤の海側に必要な箇所には、ブロックで消波堤を整備しました。
- ・この防潮堤により、数十年から百数十年に一度程度の比較的高い頻度で発生する津波の被害を防ぐことができます。

【海岸防災林】

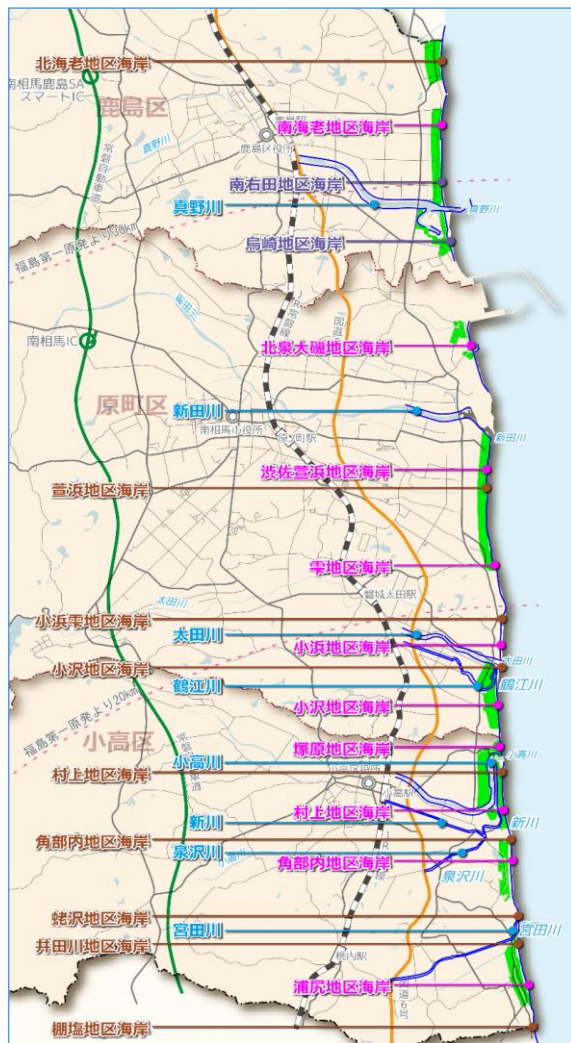
- ・防潮堤の海岸保全区域から内側（西側）に概ね200m幅の海岸防災林を整備しました。
- ・海岸防災林は地下水位から2.4mの高さまで土を盛り、その上にクロマツなどの潮風に強い樹木を植えました。
- ・海岸防災林の盛土の中に、災害により発生した瓦礫を再生利用資材として活用し、高盛土をしました。
- ・海岸防災林は、飛砂・風害等による災害防止や、津波エネルギーの減衰効果等を目的としており、用地の確保ができた箇所から整備を進めました。
- ・海岸防災林の一部は、市が市民等の協力を得て令和10年度まで植樹していきます（南相馬市鎮魂復興市民植樹祭）。

【河川堤防】

- 河川堤防については、河口部を海岸堤防と同じ標高7.2mで整備し、その上流の高潮・波浪の影響範囲は、河口部から上流に向かい堤防のかさ上げ高さを徐々に低くし、現在の堤防と合わせました。

【多重防御】

- これらの整備を行うことにより、千年に一度程度の頻度で発生する津波について、大幅に被害を減らすことができます。



海岸防災林

防潮堤・河川堤防

スケジュール

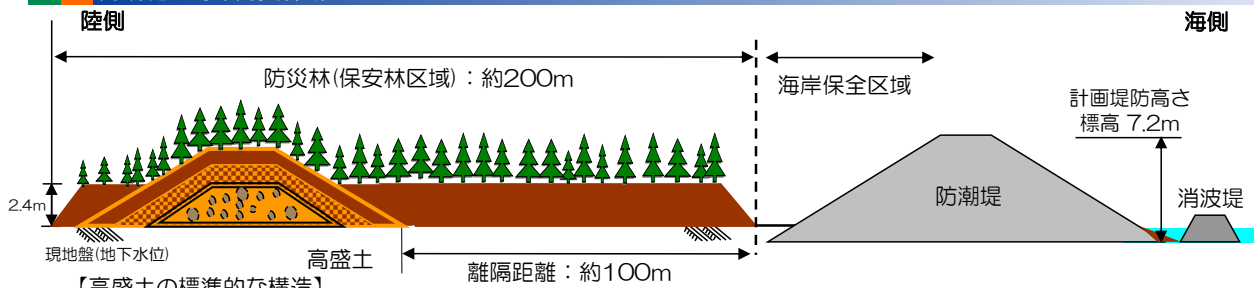
事業	項目		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
防潮堤	区旧域警外戒	消波堤工事	→										
		測量・設計	→										
		用地取得						→					
		防潮堤・河川堤防工事											
	区旧域警内戒	消波堤工事		→	→								
		測量・設計		→									
		用地取得									→		
		防潮堤・河川堤防工事			→							→	
海岸防災林	区旧域警外戒	設計	→	→									
		用地取得			→						→		
		造成工事											→
		植栽・防風柵等											→
	区旧域警内戒	設計	→	→									
		用地取得			→								→
		造成工事				→							→
		植栽・防風柵等					→						→

整備しました。

防潮堤・海岸防災林完成イメージ



防潮堤・海岸防災林断面イメージ



【高盛土の標準的な構造】

上部：植生基盤確保のために覆土しました。

中部～下部：コンクリートや瓦などの瓦礫や津波堆積土砂を再生利用し構築しました。

※ 防災林はマツ材線虫病に抵抗性のあるマツを主体に植林し、内陸側は広葉樹も植林しました。

担当部署

【防潮堤(建設海岸)に関すること】(地図上桃色箇所)

- 福島県相双建設事務所復旧・復興部復興祈念公園・海岸課
Tel 0244-26-1194

【防潮堤(漁港海岸)に関すること】(地図上紫色箇所)

- 福島県相馬港湾建設事務所建設課
Tel 0244-26-7156

【河川堤防に関すること】(地図上青色箇所)

- 福島県相双建設事務所復旧・復興部復興祈念公園・海岸課
Tel 0244-26-1194

【防災林の盛土、植栽に関すること】

- 福島県相双農林事務所森林林業部
Tel 0244-26-1189

【防潮堤(農地海岸)に関すること】(地図上茶色箇所)

- 福島県相双農林事務所農村整備部
Tel 0244-26-1162

【高盛土、南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に関すること】

- 南相馬市農林水産部 農林整備課林業係
Tel 0244-24-5378

11. 農業交流施設整備事業（完了）



新規就農者と地域住民等が交流できる施設を整備しました。

事業概要

- 新規就農者と地域住民、農業者が交流できる施設を整備し、地域コミュニティの再生と醸成を図るとともに、地域農業の持続的な発展を目指します。
- 旧鳩原幼稚園を改修し、農業をテーマとした交流施設「みらい農業交流スペース T SUMUGI」を整備しました。交流施設を活用して、新規就農者の学びの場を提供します。

【施設の概要】

所在地	小高区南鳩原字西畑24-2 (旧鳩原幼稚園)
構造	鉄骨
建築面積	386㎡
延床面積	386㎡
施設内容	スタディスペース、 コミュニティスペース、 ナレッジスペース



スケジュール

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
基本設計	→			
実施設計		→		
改築工事		→		
供用開始			★	令和6年4月11日開所

完成写真



事業費

総事業費	約1.3億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課振興係
Tel 0244-44-6807

12. 大規模乾燥調製貯蔵施設整備事業（完了）



米、大豆の乾燥調製貯蔵作業を集約的に行う大規模乾燥調製貯蔵施設を整備しました。

事業概要

- これまで個々の農業者が負担していた乾燥調製貯蔵作業を集約的に行う機能を満たす施設を整備しました。
- 帰還した農業者が大きな負担を負うことなく、円滑に営農を再開することができる環境を整備することが期待され、市内の農業者等の帰還を促進します。

施設概要

- 所在地
原町区：原町区萱浜字広谷地40番地
小高区：小高区岡田字山田1番地

スケジュール

【原町区】

項目	29年度	30年度	令和元年度
設計施工業者選定	→		
設計施工	→	→	
稼働開始			→

【小高区】

項目	令和元年度	2年度	3年度
設計業者選定	→		
実施設計	→		
工事業業者選定		→	
整備工事		→	→
稼働開始			→



完成写真



【原町区】



【小高区】

事業費

総事業費	原町区	約20億円	福島再生加速化交付金
	小高区	約20.5億円	

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農政課施設調整係
Tel 0244-44-6809

13. 小高区子どもの遊び場整備事業（完了）

遊具等を通じた運動と多様な遊びの場を屋内で提供し、子どもの体力向上と健全育成を図るとともに、

事業概要

- 「動」の遊び場（A棟）
福島第一原子力発電所事故の影響による外遊びへの不安解消や子どもたちの体力向上及び肥満傾向の減少のため、気象に左右されずに利用できる屋内の遊び場を整備しました。
- 「静」の遊び場（B棟）
室内で自分の好きな玩具等でゆっくりと遊びたいという子どもや、落ち着いた環境の中で子どもを遊ばせたいという保護者等のニーズに応えるため、旧小高幼稚園のリノベーションを行い、親子がリラックスしながら過ごせる遊び場を整備しました。
- これらの「動」と「静」の遊び場双方の相乗効果及び補完関係を通して、子どもの体力づくりの促進と、利用者相互のコミュニケーションの活性化を図ります。



施設概要

- (1) 共通事項
 - 施設名称：小高区子どもの遊び場（愛称：NIKKOパーク（にこぱーく））
 - 所在地：小高区関場一丁目1番地の1
 - 敷地面積：4800.74㎡

(2) A棟「動」の遊び場（新築）

①施設完成写真



外観写真



内観写真

②施設概要

項目	内容等
構造・階	木造2階建て
延床面積	988.6㎡
対象児童	乳幼児～小学生児童
エリア	①わいわいエリア（主に小学生児童） ネット遊具・エア―遊具・ロープウェイ・ボルダリング等 ②すくすくエリア（3～5歳児） バランス感覚を養う遊具やままごと家具等 ③よちよちエリア（0～2歳児） 乳幼児が体を動かせる遊具 ④その他 授乳室・自動販売機・交流スペース・トイレ・倉庫等



利用者相互のコミュニケーションの促進を図ることができる施設を整備しました。

(3) B棟「静」の遊び場（旧小高幼稚園をリノベーション）

①施設完成写真



②施設概要

項目	内容等
建設年月	平成7年3月（平成25年8月に一部改修）
構造・階	鉄骨造平屋建て
延床面積	369.7㎡
対象児童	乳幼児～小学生児童
エリア	①多目的室 99.2㎡ ②遊び場ゾーン 98.0㎡（49.0㎡×2室） 玩具・絵本等 ③その他 172.5㎡ 事務スペース・エントランスホール・トイレ・倉庫等

(4) 屋外遊具・駐車場

①屋外遊具：ブランコ・雲梯・ジャングルジム・砂場・複合遊具等

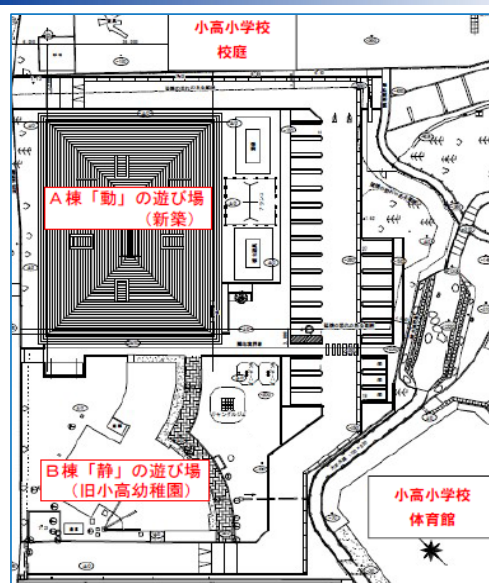
②駐 車 場：25台分（遊び場敷地外に、別途駐車場を整備）

スケジュール

・令和3年4月運用開始予定

項目	令和元年度	2年度	3年度
設計	→		
建設工事		→	
運用開始			→

建物配置位置図



事業費

総事業費	約6億円	福島再生加速化交付金 福島県被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業補助金(屋内遊び場確保事業)
------	------	---

担当部署

・ 南相馬市こども未来部 こども家庭課こども企画係
Tel. 0244-24-5229

14. 子どもの遊び場整備事業（原町区・鹿島区）（完了）

子育て家庭が安心して暮らすことができる環境整備と併せ、子どもの体力向上及び肥満傾向の

事業概要、整備内容

【わんぱくキッズ広場、かしまわんぱく広場】

- 震災以降、子どもの体力低下や肥満傾向を改善するため、雨や雪の日でも外遊びできる屋根つきの遊び場を2施設整備しました。屋根は膜素材で自然光を採り入れ、自然に近い環境で子どもを遊ばせることができる施設です。床は全面人工芝で自由に遊べるフリースペースと大型遊具があるアスレチックスペースとしています。

①わんぱくキッズ広場

項目	内容
所在地	原町区高見町二丁目22番地の1
面積	1,200㎡
遊具	ふわふわドーム、クリフクライマー、ザイルクライミング
その他	ミスト水噴霧パーゴラ、水飲み場、トイレ



②かしまわんぱく広場

項目	内容
所在地	鹿島区鹿島字北千倉24番地の1
面積	800㎡
遊具	ふわふわドーム、複合遊具（クリフクライマー、滑り台）
その他	出入口のミスト水噴霧、水飲み場、トイレ



【南相馬みんなの遊び場】

- 東日本大震災被災地支援事業「みんなの遊び場プロジェクトin南相馬」より寄贈を受けた砂場付き屋内遊び場を運営しています。

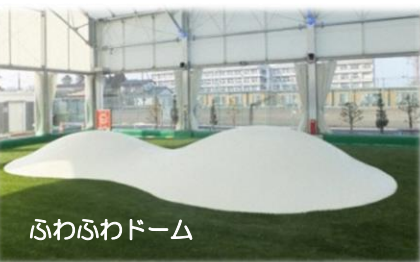
項目	内容
所在地	鹿島区鹿島字広町13番地
面積	171.37㎡（うち砂場44.2㎡）
遊具 その他	砂場、クライミングウォール、手足洗い場、授乳室、トイレ、絵本コーナー ほか
対象	小学生以下及び保護者
利用時間	9時～12時、13時～16時30分
休館日	水曜日及び12月29日～1月3日

スケジュール

施設名称	項目	25年度	26年度	27年度	28年度
わんぱくキッズ広場（原町区）	設計・工事	→			
かしまわんぱく広場（鹿島区）	設計・工事			→	
南相馬みんなの遊び場（鹿島区）	設計・工事		→	→	→

改善を目的に施設を整備しました。

施設完成写真

わんぱくキッズ広場（原町区）	かしまわんぱく広場（鹿島区）	南相馬みんなの遊び場（鹿島区）
＜外観＞		
		
＜内観・遊具＞		
 ふわふわドーム	 ふわふわドーム	 屋内砂場
 クリフクライマー	 複合遊具（滑り台）	 絵本コーナー
 ザイルクライミング	 複合遊具（クリフクライマー）	 乳児コーナー

事業費

【わんぱくキッズ広場】

総事業費	約2.6億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

【かしまわんぱく広場】

総事業費	約3.4億円	復旧・復興基金
------	--------	---------

担当部署

- 南相馬市こども未来部 こども家庭課こども企画係
Tel 0244-24-5229

15. 小高区認定こども園整備事業（完了）



子育て世代の多様なニーズに対して柔軟な対応が可能となる認定こども園を整備しました。

事業概要

- ・ 保育園の保育するという特色と幼稚園の教育という特色、両方を合わせ持つため、保育と教育の両方を受けることができます。
- ・ 保護者が働いている、いないに関わらず利用でき、保護者の就労状況が変わっても、通い慣れた園を継続して利用できます。
- ・ 全ての子育て家庭を対象に子育て不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などを行います。
- ・ 園庭は人工芝で整備し、年齢に応じた遊具を設置しました。
- ・ 利用定員 保育園70名 幼稚園20名（令和7年4月1日時点）
在園児数 保育園63名 幼稚園17名（令和7年4月1日時点）



【所在地】

小高区関場二丁目21番地

スケジュール

項目	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
基本設計、地質調査	→				
実施設計、開発行為、 外構設計、用地取得		→			
造成工事			→		
建設工事				→	
外構工事				→	
開園					→

完成写真



事業費

総事業費	約6.7億円	福島再生加速化交付金、福島再生加速化交付金（福島県間接補助） 教育振興基金
------	--------	--

担当部署

- ・ 南相馬市こども未来部こども育成課幼児育成係
Tel.0244-24-5242

16. 鹿島体育館整備事業（完了）



子どもや子育て世代などが安心してスポーツ活動ができる鹿島体育館を整備しました。

事業概要

- 子どもから子育て世代や高齢者までの誰もが利用できる鹿島体育館を整備し、地域の絆の強化やスポーツによる地域の活性化、運動不足の解消や健康増進を図ります。
- この施設は、木材をふんだんに用いて温かみのある空間で、明るく開放的な造りとなっています。また、多目的スペースや授乳スペースもあり、幼児や子育て中の方々も安心して利用できる空間を確保しました。



施設概要

項目	内容
所在地	南相馬市鹿島区横手字川原186-1
連絡先	TEL：0244-46-1215
構造	RC造2階建て
面積	アリーナ面積 1,049.51㎡
その他	2階多目的スペース、ステージ、器具庫
利用時間	午前9時～午後9時

スケジュール

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
設計	→				
整備工事		→			
供用開始				★	H28.4.27供用開始

完成写真



事業費

総事業費	約7.8億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

担当部署

- 南相馬市健康福祉部 スポーツ推進課
Tel 0244-24-5280

17. 北泉海浜総合公園整備事業（完了）

被災した北泉海浜総合公園を、震災前のように市民の憩いの場として復旧するために再度整備

事業概要

- 震災で大きな被害を受けた北泉海浜総合公園を再度整備しました。
- 平成25年度末に公園部分の災害復旧工事に着手しました。復旧工事が完了した丘陵地エリアを平成27年4月末から解放しています。
- 金沢・北泉地区の防災機能を確保する観点から、海岸堤防（砂浜への階段部分）は1m嵩上げて7.2mで整備しました。
- 花の広場、海水浴場、駐車場、トイレ、多目的広場、シャワー施設などを再度整備しました。海水浴場についても、令和元年度に再開しました。
- 公園に隣接して、東日本大震災により犠牲となられた方々を追悼するため、メモリアルパークを整備しました。
- メモリアルパークの整備により、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓を伝承し、防災意識の向上を図ります。



スケジュール

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和年度	2年度	備考
公園整備計画	→								公園周辺を含めた事業計画の策定
災害復旧事業		→							第1工区 丘陵地エリア
災害復旧事業				→	→	→			第2工区 津波被害エリア
実施設計				→					災害復旧する範囲以外のエリアについて実施
公園整備事業							→	→	
防潮堤設計	→								
防潮堤整備		→	→	→	→				
防災林設計		→							
防災林整備			→	→	→	→	→	→	

- 平成26年度から公園南側の丘陵地エリアの除染対策事業を実施し、平成27年3月に完了しました。
- 丘陵地エリアの整備終了後、北側のエリア（花の広場、シャワー施設、トイレ、多目的広場など）の復旧工事を行いました。このエリアは平成30年3月に整備が完了しました。
- 南相馬市メモリアルパークについては、メモリアル広場（モニュメント・記念碑）、駐車場、多目的広場を整備しました。

事業費

総事業費	約16億円	復興交付金（メモリアルパーク整備：約2億円） 災害復旧事業補助金
------	-------	-------------------------------------

しました。

北泉海浜総合公園（花の広場）



北泉海浜総合公園エリアイメージ



担当部署

- 【公園の整備に関すること】
- ・ 南相馬市建設部 都市計画課街路公園係
Tel 0244-24-5251



18. 南相馬市テニスコート整備事業（完了）



利用者の利便性の向上や世代間交流を促進するためにテニスコートを増設しました。

事業概要

- テニスコートを8面増設することにより14面となり、東北大会規模の大会開催が可能になるとともに、市民の健康増進と利用者の利便性の向上や世代間交流の促進を図ります。
- ナイター設備や大会運営室や会議室を兼ね揃えた管理棟、観覧席等を整備しました。

施設概要

項目	内容
所在地	南相馬市原町区下高平字堂場地内
連絡先	TEL：0244-22-8951
内 容	砂入り人工芝（ナイター設備8面） 管理棟（木造2階建て）
整備面積	18,870.20㎡
付帯施設	管理棟、観覧席、駐車場等
利用時間	午前9時～午後9時



スケジュール

項目	28年度	29年度	30年度	備考
設 計	→			
整備工事		→		
供用開始			★	H30.4.15供用開始

完成写真



事業費

総事業費	約5.8億円	みらいを創る市町村等支援事業助成金 南相馬市テニスコート増設事業債
------	--------	--------------------------------------

担当部署

- 南相馬市健康福祉部 スポーツ推進課
Tel 0244-24-5280

19. 南相馬市パークゴルフ場整備事業（完了）



多くの方々が楽しめるパークゴルフ場を整備しました。

事業概要

- 子どもから高齢者までの誰もが楽しめるパークゴルフ場を整備し、地域交流や世代間交流の促進によるコミュニティの再構築を進めるとともに、健康の維持増進や介護予防を図ります。
- この施設は、津波により流失した牛島パークゴルフ場と、暫定利用の菅浜ニュースポーツ広場の代替えとして整備し、日本パークゴルフ協会の公認コースの認定を受けています。



施設概要

項目	内容
所在地	南相馬市鹿島区川子字大迫2番地
連絡先	TEL/FAX：0244-46-1521（管理棟直通）
コース	6コース54ホール
面積	約7ha
付帯施設	管理棟、休憩所、駐車場等
利用時間	午前9時～午後4時（4～9月は午後5時まで）
利用料金	大人1回500円（12枚回数券5,000円） 高校生以下1回250円（回数券2,500円）

スケジュール

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	備考
基本設計	→				
実施設計		→			
整備工事			→		
供用開始			★		H28.10.17供用開始

完成写真



事業費

総事業費	約6.1億円	生活拠点における 交流促進事業補助金
------	--------	-----------------------

担当部署

- 南相馬市健康福祉部 スポーツ推進課
Tel 0244-24-5280

20. 小高診療所（無床）整備事業（完了）



将来の有床診療所としての活用可能性も踏まえた恒久的な診療施設を小高区内に整備しました。

事業概要

- 総合病院附属小高診療所は、平成30年度に策定した「南相馬市立病院病床再編計画」に基づき、令和元年8月から「市立小高病院」を「市立総合病院のサテライト診療所（無床）」に再編し、小高保健福祉センター内に設置しました。
- 小高診療所は、市立小高病院本館の解体工事に伴い、診療場所を一時的に小高保健福祉センター内に設置していましたが、将来の有床診療所としての活用可能性も踏まえた恒久的な診療施設として、新たに小高区内に診療所を整備しました。



施設概要

項目	内容
所在地	小高区東町三丁目地内（市立小高病院跡地）
敷地面積	5,505㎡
延床面積	565㎡ 旧棟の一部を含む
主な施設	診察室（3室）、処置室、レントゲン室、待合室、薬品室、医局、事務室
診療科目	内科、外科

スケジュール

- 令和3年12月16日供用開始

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本設計		→	
実施設計		→	
敷地造成工事		→	
建設工事		→	
供用開始			→

事業費

総事業費 約4億円

福島県地域医療復興事業補助金

完成写真



担当部署

- 南相馬市立病院附属小高診療所事務課
Tel 0244-44-2025

21. 脳卒中センター整備事業（完了）



相双医療圏で唯一脳血管疾患の救急対応や入院できる病院として脳卒中センターを整備しました。

事業概要

- 相双地区の医療復興の拠点となるべく、積極的に政策医療（脳血管疾患及び救急医療）に取り組み、脳卒中死亡率を低減させます。
- 相双地区の住民に積極的に脳卒中啓蒙活動を行い、脳卒中発生率の低減に努めます。
- 住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、地域医療支援病院として、他の医療機関と積極的に連携し、地域医療体制の充実を図ります。
- 災害拠点病院として災害時に被災者に対する救急治療スペースの確保、被災者受け入れ機能に配慮した施設の整備に努めます。
- 二次救急までが完結できる体制を目指し、とりわけ死亡率の高い脳卒中を中心とした脳疾患に関しては、可能な限り三次救急医療まで完結できるように整備します。
- 平成29年2月1日に開所しました。



建設位置及びフロア概要

- 建設位置
原町区高見町二丁目54番地の6
（本院南側）
- 1階
外来（脳神経外科・整形外科・小児科等）
救急外来、時間外受付
放射線科（CT・MRI・PET等）
- 2階
リハビリテーション室、研修医室
管理部門（医局・多目的ホール・当直室等）
- 3階
病棟（50床：集中治療室含む）
洗髪室、カンファレンス室等
- 4階
病棟（50床）
洗髪室、カンファレンス室等
- 5階
機械室、電気室、発電機室、医療ガス室
- 屋上
ヘリポート、エレベーター

完成写真



事業費

総事業費	約59億円	福島県地域医療復興事業補助金
------	-------	----------------

担当部署

- 南相馬市立総合病院 事務部総務課総務係
Tel. 0244-26-7541

22. 工業団地（福島県ロボットテストフィールド）整備事業（完了）

復興工業団地、福島ロボットテストフィールドを核とした新産業創出と人材誘導を推進します。

事業概要

- 市内の多くの事業所は、震災と原発事故の影響により休業や廃業、市外への事業所移転、従業員の解雇を余儀なくされるなど、深刻な状況が発生しました。
- その後も風評被害による受注の減少や、取引先企業からの要請によりやむなく市外に移転せざるを得ない企業が出るなど、市民の長期的かつ安定的な雇用の場が大幅に減少しており、新たな雇用の場の確保のために工業団地を造成し、企業誘致を図る必要があります。
- そのため、市内2か所（渋佐・萱浜地区、下太田地区）で工業団地を整備しました。
- さらに、福島イノベーション・コースト構想において、県が整備する「福島ロボットテストフィールド」を活用し、「ロボットのまち南相馬」を実現させるため、ロボット産業関連企業等の進出をサポートします。
- 国や県が実施している企業立地補助金の他に、新規雇用数に応じて市独自の助成金を交付する制度を整え、新たに立地する企業への支援を行っています。



復興工業団地の整備スケジュール

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
工業団地（1工区）					
工業団地（2工区）					
福島ロボットテストフィールド整備					

※ 福島ロボットテストフィールドは、平成30年度以降、順次開所しており、令和2年春に全面開所しました。

下太田工業団地の整備スケジュール

エリア	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
第1期造成エリア							
第2期造成エリア							

【第1期造成エリア】

- ①用地面積：7.6ha
- ②供用開始年度：平成26年度

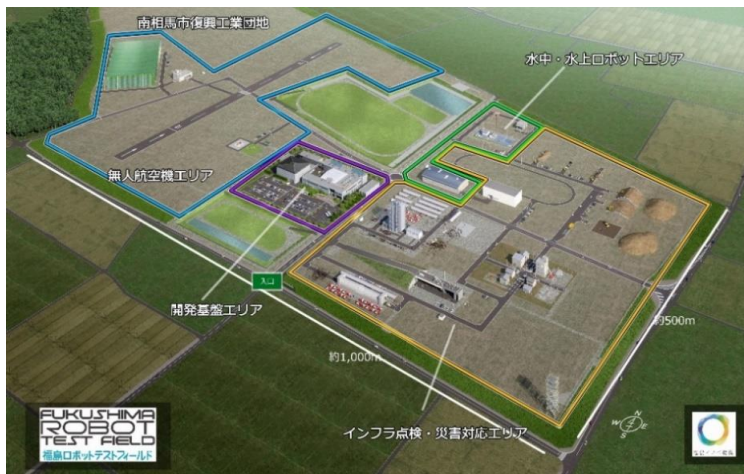
【第2期拡張造成エリア】

- ①用地面積：5.7ha
- ②供用開始年度：令和元年度

復興工業団地（福島ロボットテストフィールド）事業概要

- 沿岸部の津波被災地である浪佐・萱浜地区に、約70haの工業団地を整備しました。
- 工業団地の用地については、防災集団移転促進事業により市が被災された方から買取りを行う宅地などの換地集約と土地改良事業（ほ場整備）により創出される土地などを活用しています。
- 福島県が、ロボット研究の拠点となる「福島ロボットテストフィールド」を復興工業団地（約50ha）に整備しました。工場用地として利用できる面積は、道路敷・緩衝帯等を除き、約12haになります。
（令和7年度から「福島ロボットテストフィールド」は、F-REI（福島国際研究教育機構）に統合されました。）
- 「福島ロボットテストフィールド」は、物流やインフラ点検、大規模災害などに対応する陸・海・空のフィールドロボットを主対象とした一大研究開発拠点であり、市では、この拠点を核とした取組を加速させ、社会や技術の変化に対応できる「人」を育て、市内企業の技術革新、販路拡大等につなげるべく取り組みを展開していきます。

復興工業団地（福島ロボットテストフィールド）完成写真（一部イメージ）



総事業費

総事業費	約87.1億円	復興交付金 福島再生加速化交付金
------	---------	---------------------

担当部署

【復興工業団地に関すること】

- 南相馬市商工観光部 商工労政課企業支援係
Tel 0244-24-5335

【福島ロボットテストフィールドに関すること】

- 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
「福島ロボットテストフィールド」
Tel 0244-25-2473

23. 復興賃貸事業所整備事業（完了）



ロボット関連産業等をはじめとした新産業の創出・育成のため復興賃貸事業所を整備しました。

事業概要

- 福島ロボットテストフィールドから約1.7kmの場所に位置し、貸事務所8区画、貸工場4区画、会議室等を備えた施設となっており、新産業の創造に向けた研究開発、市内の産業振興拠点としての役割が期待されています。
- 区画の利用者は、貸事務所、貸工場としての場の提供に加え、地元事業者・市内産業団体等との連携のための支援や、創業・起業するために必要な相談等の支援を受けることができます。
- 福島ロボットテストフィールドを核とした新産業の創出や人材誘導の実現に向けた取組みを推進し、市内産業の振興・発展を目指します。

【所在地】

原町区萱浜字巣掛場45-245



スケジュール

項目	29年度	30年度	令和元年度	2年度
基本設計		→		
測量・地質調査		→		
実施設計		→		
開発行為			→	
建設工事			→	→
開所準備				→
開所				→

完成写真

【外観】



【貸工場】



【会議室】



事業費

総事業費	約7.1億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

担当部署

- 南相馬市商工観光部 商工労政課ロボット・次世代産業推進室
Tel 0244-24-5326

24. 小高区商業施設整備事業（完了）



小高区の買い物環境を整備しました。

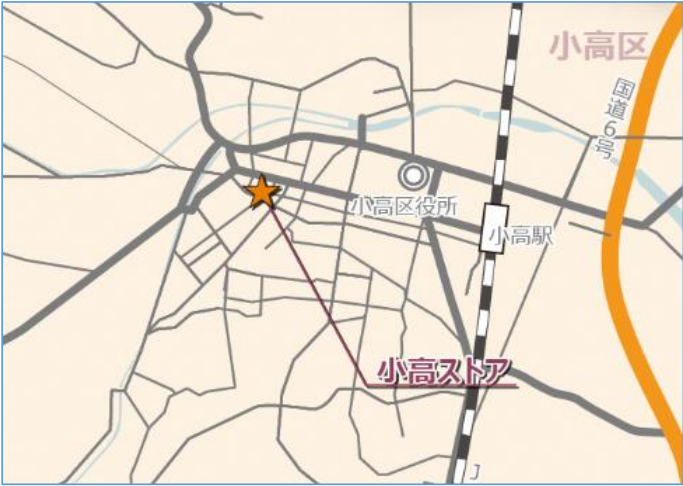
事業概要

- ・ 帰還した住民の生活利便性の向上や、帰還を検討している住民の帰還意欲向上を図るため、住民の日常生活に不可欠な食料品や日常雑貨などが購入できる商業施設を公設で整備しました。

施設の概要

- ・ 所在地 小高区上町一丁目56番地
- ・ 敷地面積 1,566.96㎡
- ・ 延床面積 431.70㎡
- ・ 構造 鉄骨造平屋建て
- ・ 駐車台数 18台
- ・ 開所 平成30年12月6日開所
- ・ 主な店舗の内容

区 分	面 積
物販スペース	231.06㎡
コミュニティスペース	18.00㎡
トイレ2・多目的トイレ	11.22㎡
作業室	46.04㎡
ストックルーム	31.68㎡
事務室・休憩室	32.4㎡



スケジュール

項目	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
用地取得					
運営者選定					公募型プロポーザルにより選定
施設整備					
営業					平成30年12月より営業開始

商業施設完成写真



事業費

総事業費	約3億円	自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金
------	------	--------------------

担当部署

- ・ 南相馬市小高区役所地域振興課
Tel0244-44-2112

25. 大町地域商業施設整備事業（完了）



歩いて暮らせるまちづくりを目指すため、大町地区に商業施設を整備しました。

事業概要

- 大町・栄町地区災害公営住宅の入居者をはじめとする大町地域周辺の住民の買い物の利便性向上を図るため、大町南地区災害公営住宅の隣に食料品や日用雑貨などを取り扱う商業施設（おおまちマルシェ）を整備しました。
- 施設の運営は、民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用できる指定管理者制度を活用しています。
- 商業施設では、食料品や日用雑貨などを購入することができます。



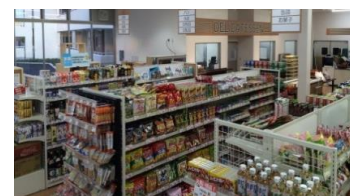
【施設の概要】

所在地	原町区大町二丁目99-2
構造	鉄骨造平屋建
敷地面積	535㎡
延べ床面積	374㎡
駐車場	11台

スケジュール

項目	26年度	27年度	28年度	備考
実施設計		→		
建設工事		→		
運営者選定		→		
供用開始			★	平成28年4月21日開所

完成写真



事業費

総事業費	約1.4億円	津波・原子力災害被災地域雇用創出・企業立地補助金
------	--------	--------------------------

担当部署

- 南相馬市商工観光部 商工労政課商業振興係
Tel.0244-24-5264

26. 長期避難者生活拠点(県営復興公営住宅)整備事業 (完了)



原発事故により長期の避難を余儀なくされている、主に帰還困難区域や居住制限区域の方々に向けた復興公営住宅を福島県が整備しました。

事業概要

- 令和7年4月現在、南相馬市には双葉郡をはじめとする原発被災自治体から2,299人の方が避難生活を続けています。
- 福島県では、長期の避難を余儀なくされている、主に帰還困難区域や居住制限区域の方々の居住の安定を確保するために、県全体（市町村営含む）で4,767戸の復興公営住宅を整備しました。
- 令和5年10月から、入居率が80%以下の県営団地においては、一般の県営住宅入居資格者も募集対象者としています。
- 入居者同士や地域の方々とコミュニティ活動を行えるよう、各団地に集会所や広場を整備するとともに、コミュニティ交流員を配置し、自治組織の運営や交流活動を支援しています。

各地区の整備内容

区	団地名	住宅形態	整備戸数	進捗
鹿島	西町	木造	50戸	完成
原町	北原	RC造	264戸	完成
	上町	RC造	182戸	完成
	牛越	RC造	176戸	完成
	南町	RC造	255戸	完成
合 計			927戸	

※ RC・・・鉄筋コンクリート



整備財源

福島再生加速化交付金（長期避難者生活拠点形成）を活用して整備しました。

県営復興公営住宅の完成写真及び間取り図



3LDKタイプ



2LDKタイプ

※ 棟ごとにエレベーターを設置しました。

※ 間取りは一例です。実際に入居する住宅の間取りとは異なる場合があります。

担当部署

【県営復興公営住宅の整備に関すること】

- 福島県避難地域復興局生活拠点課
Tel 024-521-8306
- 福島県土木部建築住宅課（住宅整備担当）
Tel 024-521-7521

【県営復興公営住宅の入居に関すること】

- 福島県復興公営住宅入居支援センター
Tel 024-522-3320

27. 防災集団移転促進事業（完了）



津波被害を受けた居住者が、安全な地区に移転することを促進するための事業です。

事業概要

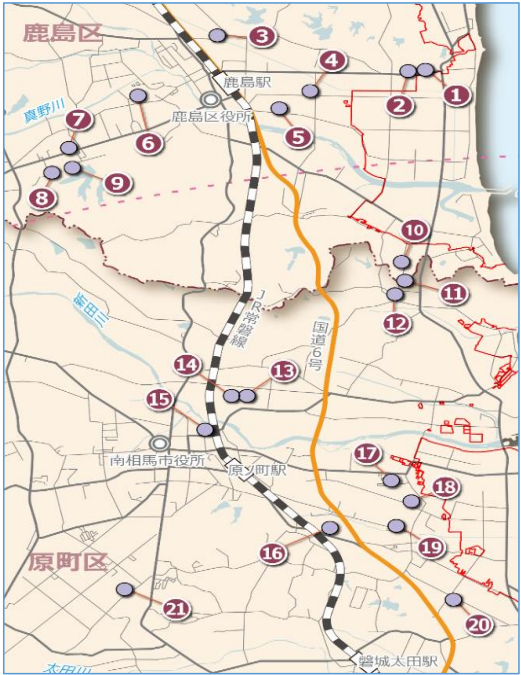
- 事業の対象者は、「移転促進区域」（津波の被害を受け、住民の居住に適さないと認められる区域）の内にいる住居の居住者です。
- 住宅団地は、津波やがけ崩れなどの危険性のない場所に計画しました。
- 団地の造成に伴い、必要となる場合は周辺道路の拡張や排水路の整備も行いました。
- 団地の造成は本事業で行い、住宅の建築は移転者が行いました。

■移転先関連

- 移転方法は次の3種類です
 - ① 「住宅団地」への移転
 - ② 「災害公営住宅」への転居
 - ③ 被災者自身で移転先を確保する「個別移転」
- 上述の①「住宅団地」を本事業で整備し、移転を希望する事業の対象者に分譲しました。

■移転元関連

- 「移転促進区域」内にいる敷地内の宅地等を市が買い取りました。
- 「移転促進区域」は「災害危険区域」にも指定するので、住居として使用する建築物の建築が禁止または制限されます。
- 市が買い取った土地は、復興関連事業として活用します。



● 住宅団地の位置
— 災害危険区域の範囲

スケジュール

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
災害危険区域の指定	→				
住宅団地造成					
住宅団地の位置・規模の決定	→		→		
区画検討測量設計	→				
住宅団地造成工事	→	→			
個人の補助金申請					→
買移転元					
買取意向確認	→	→	→		
買取契約			→	→	→

→ 原発から20km圏内のスケジュール
→ 原発から20km圏外のスケジュール

移転先住宅団地の地区名と規模

No.	地区名	戸数	団地面積
1	南海老	6	0.6ha
2	北海老	13	1.5ha
3	南屋形	8	0.6ha
4	北右田	5	0.6ha
5	鹿島	8	0.7ha
6	寺内	48	4.5ha
7	上寺内1	14	1.4ha
8	上寺内2	7	1.0ha
9	上寺内3	5	0.6ha
10	大内	5	0.5ha
11	金沢1	5	0.7ha

No.	地区名	戸数	団地面積
12	金沢2	5	0.6ha
13	上高平1	7	0.6ha
14	上高平2	5	0.3ha
15	小川町	57	4.3ha
16	北原	23	1.8ha
17	上渋佐	32	3.2ha
18	萱浜1	18	1.6ha
19	萱浜2	15	1.4ha
20	雫	7	0.6ha
21	本陣前	11	0.8ha

事業費

総事業費	約173億円	復興交付金
------	--------	-------

担当部署

- 【防災集団移転促進事業に関すること】
（住宅団地の造成・移転元地の買取り）
・ 南相馬市建設部 都市計画課都市計画係
Tel 0244-24-5251
- 【災害危険区域の指定に関すること】
・ 南相馬市建設部 建築住宅課建築営繕係
Tel 0244-24-5255

28. 災害公営住宅整備事業（完了）

東日本大震災で地震や津波により家屋が全壊・流失等をした方で、自ら住宅を確保することが難しい方のために災害公営住宅を整備しました。

事業概要

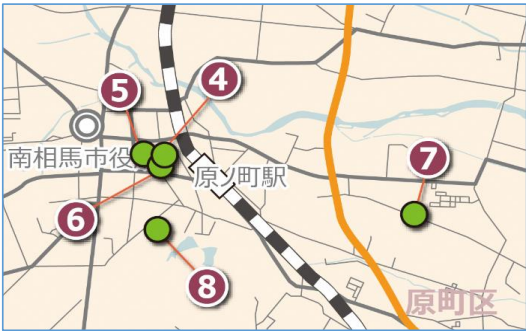
- 災害により被災（全壊・半壊以上で解体）した住宅に居住していた方で、自ら住宅を確保することが困難な方に対して、安定した生活を確保するために低廉な家賃で供給される公営住宅です。
- 市内に11団地350戸の災害公営住宅を建設しました。
- 整備した建物は中層の集合住宅、戸建ての住宅、長屋形式の住宅です。
- 駐車場を各団地に整備しました。駐車場の使用料は家賃とは別に必要となります。
- 毎月の家賃は、入居者の収入に応じ年度ごとに額を決定します。その他に共益費などもあります。

【入居申込資格】

- 東日本大震災で住宅が全壊・流失した世帯
- 東日本大震災で住宅が半壊・大規模半壊し、その建物を解体した又は解体することが確実な世帯

【その他】

- 家賃は通常の公営住宅と同じですが、特に所得が低い世帯については20年間は軽減策として東日本大震災特別家賃低減事業があります。



各住宅の整備内容と入居開始時期

区	No.	地区名	住宅形態	間取りと整備戸数	入居開始	備考
鹿島	1	西川原	木造平屋/木造2階建	2DK・18戸/3DK・10戸	平成26年4月	ペット可
	2	西町	RC3階建 ※1	2DK・15戸/4DK・15戸	平成26年10月	
	3	西川原第二	RC2階建	2DK・20戸/3DK・12戸	平成28年4月	
原町	4	大町東（大町駐車場）	RC5階建	2DK・28戸/3DK・32戸	平成27年4月	
	5	大町西（市立病院跡地）	木造平屋（長屋形式）	2DK・20戸	平成27年4月	高齢者向け
	6	大町南（サティ跡地）	RC5階建	2DK・20戸/3DK・20戸	平成27年4月	
	7	菅浜	RC3階建・RC5階建	2DK・17戸/3DK・12戸	平成28年4月	
	8	栄町	S平屋/木造2階建	2DK・28戸/3DK・10戸	平成28年4月	ペット可
小高	9	東町（農協跡地）	S3階建※2	2DK・21戸/3DK・12戸	平成28年4月	
	10	万ヶ迫	木造平屋/木造2階建	2DK・14戸/3DK・6戸	平成28年7月	ペット可
	11	上町	木造2階建（長屋）	3DK・2戸	平成28年7月	市営住宅敷地内

※1 RC・・・鉄筋コンクリート造

※2 S・・・鉄骨造

事業費

総事業費	約90.6億円	復興交付金
------	---------	-------

担当部署

- 南相馬市建設部 建築住宅課住宅係
Tel 0244-24-5253

29. 大木戸住宅団地宅地造成事業（完了）



移住・定住人口の増加や、東日本大震災被災者の市外再建による人口流出を防ぐため、市街地に大規模な住宅用地を整備しました。

事業概要

- 東日本大震災で被災した世帯の住宅再建を支援するとともに、若い世代の定住・移住を後押しするため、原町区大木戸字松島地区に大規模な宅地を整備しました。
- 整備地の農地は、農地法により民間による宅地分譲が認められていないことから、市が実施主体となり復興整備事業として整備しました。
- 宅地の整備にあわせて、公園や道路についても整備しました。
- 上記道路の整備により、北側にある県道49号原町浪江線と南側にある市道夜ノ森前大木戸線との連絡道になることから、周辺地域の住民にとって利便性が向上しました。



整備内容

区画別面積	区画数
120坪	23区画
100坪	34区画
80坪	11区画
計	68区画

※面積は坪換算の計画面積です。

スケジュール

項目	27年度	28年度	29年度
基本設計	※平成26年度に完了		
用地取得	→	→	
実施設計	→	→	
造成工事		→	→
分譲販売			→

完成写真



事業費

市整備分	約2.9億円	宅地を造成する上で必要な道路や公園等の公共施設整備費
受益者負担	約7.5億円	上記費用を除く整備費

担当部署

- 南相馬市建設部 建築住宅課住宅係
Tel 0244-24-5253

30. 八木沢トンネルの整備（完了）



震災により交通量の増えた県道12号(原町川俣線)の八木沢峠にトンネルを整備しました。

事業概要

- 県道12号(原町川俣線)は南相馬市と中通りを結ぶ重要な道路であり、東日本大震災以降交通量が増加しています。
- 八木沢峠は急カーブや急勾配が連続しており、特に、冬期間には路面凍結や降雪のために通行が困難になることもあります。
- これらを解消するため、県道12号の八木沢峠の一部区間にトンネルを整備しました。
- 整備する道路の延長は2,800m。その内、トンネルの長さは2,345mです。
- 平成25年度からトンネル工事に着手し、平成30年3月18日に開通しました。



事業費

県整備分	約80億円	社会資本整備総合交付金
------	-------	-------------

計画路線図



スケジュール

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
設計	→				
整備工事		→	→	→	→
設備等工事				→	→

担当部署

【道路・トンネルの整備に関すること】

- 福島県相双建設事務所事業部道路課
Tel 0244-26-1214

31. 有害鳥獣焼却施設整備事業（完了）



有害鳥獣を安全に処理する専用焼却施設を整備しました。

事業概要

- ・ 原発事故の影響により増加し、農作物等に被害を拡大させている有害鳥獣を積極的に駆除し、安心・安全に処理する専用の焼却施設を整備しました。
- ・ 整備する土地は防災集団移転促進事業の移転元地として被災した方々から市が買取りを行った土地です。
- ・ 市が福島再生加速化交付金を活用して整備を行います。
- ・ モニタリングポストを設置するとともに定期的に放射能に関する検査を行い、検査結果はホームページなどで公表します。
- ・ 施設の整備については安心・安全はもとより、周辺環境などに十分配慮した景観としました。
- ・ 平成31年4月から稼働を開始しました。

【所在地】

原町区小沢字小沢152番地



スケジュール

項目	29年度	30年度	令和元年度	備考
用地測量	→			
地質調査	→			
業者選定	→			プロポーザル方式により選定
整備工事		→		設計・施工一括発注
稼働開始			→	平成31年4月に稼働開始

完成写真



事業費

総事業費	約3.8億円	福島再生加速化交付金
------	--------	------------

担当部署

- ・ 南相馬市市民生活部 生活環境課衛生施設係
Tel 0244-24-0063

32. 南相馬市消防・防災センター整備事業 (完了)



住民が安全・安心して暮らせるよう、消防・救急体制の充実・強化を図ります。

事業概要

- 相馬地方（南相馬市・相馬市・新地町・飯舘村）から集約された119番通報を受付し、緊急通報者の発信地位置情報、災害通報の覚知、出動車両の自動編成及び出動指令など、現場活動の支援を統括する、高度にIT化された施設です。
- 高性能な消防指令施設の導入により、正確で迅速な災害対応が可能となります。
- 施設は、119番通報の受付から出動指令、車両の運用情報を管理する消防指令システム、危険物施設や消防水利の位置情報を支援する情報管制システムの2つに分別されます。
- 2署、4分署の指令業務を1箇所の指令施設に集約することにより、効率化と高度化、職員配置の充実を図ることができます。
- 相馬地方の救急搬送医療圏と指令施設のエリアが一致し、情報の一元化による迅速かつ適切な医療機関選定が可能になります。
- 2署、4分署の災害発生状況や消防車両の出動状況などの情報を一元管理するため、応援出動の要請時間も短縮されるなど、広域応援体制がさらに強化されます。



【所在地】
原町区高見町一丁目272番地

スケジュール

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考
設計等		①	②	③		①基本、②実施、③展示物整備等
工事						建築、外構、庁舎解体工事等
供用開始					★	H27.3供用開始

完成写真及び主な機能



主な機能	概要
指令台・指揮台	災害通報の受付、災害地点の決定、出動指令などの指令業務を自動出動指定装置、地図検索装置、音声合成装置などの連動により迅速に行います。
多目的情報表示板 車両運用表示板 支援情報表示板	指令台モニター等との連動表示に加え、災害事案情報（災害地点地図、車両編成、支援情報、監視カメラ映像）救急事案一覧等、指令施設に集約される情報を表示します。
指令制御装置	119番回線、無線回線、指令回線等を収容し、自動出動指定装置と連動して通信を制御します。
消防救急 デジタル無線	音声と文字情報による活動支援により、災害発生時に迅速・的確な指示伝達を行います。
車両運用端末装置	動態情報と自車位置情報を指令施設へ送信し、災害情報や消防水利等の支援情報が表示できます。また、災害地点までのナビゲーション機能も搭載しています。

事業費

総事業費	約16.3億円	災害復旧事業費補助金 旧合併特例事業債
------	---------	------------------------

担当部署

- 南相馬市復興企画部 危機管理課
Tel. 0244-24-5232

33. 防災備蓄倉庫整備事業（完了）



災害に備えた物資を備蓄するため、防災拠点となる防災備蓄倉庫を整備しました。

事業概要

- ・ 約4,500人分の食糧、水、毛布等の物資のほか、救援救護活動に必要な資機材等も備蓄し、災害発生時における万全の体制を構築しました。
- ・ 消防団や防災関係団体等の会議、研修、各種訓練等に活用します。

施設の規模・概要

■所在地：原町区菅浜字巢掛場45-134

■敷地面積：6,827.27㎡

■建築延床面積：1,005.68㎡

構造	主な用途	床面積	機能
鉄骨造	倉庫	712.5㎡	・電動式移動ラック (96パレット×5基=480パレット) ・固定棚(48棚×2基=96パレット) ・フォークリフト1台
	会議室	92.4㎡	・主に消防団や防災関係団体による 会議や研修施設として活用 ・長机：27台 椅子:54脚
	作業スペース	114㎡	・底下仕分け作業スペース
	その他	86.78㎡	・ホール、トイレ、給湯室、通路 等
合計		1,005.68㎡	



スケジュール

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	備考
設計	①→	②→	③→		①計画、②測量、③実施設計等
工事			①→	②→	①造成、②建築、外構工事等
備蓄品配備					
供用開始				★	H29.12供用開始

完成写真



主な備蓄品の内容

品目	備蓄品
食料品	クラッカー、ライスクッキー、粉ミルク、即席麺、アルファ米、おかゆ
生活物資	寝具・衣料品、炊事器具、食器・日用雑貨、暖房器具、簡易トイレ、要配慮者向け用品、簡易マット、間仕切り
飲料水	応急飲料水、給水タンク、ポリ容器、ポリ袋
応急活動用資機材	エンジンカッター、油圧切断機、油圧スプレッター、発電機、投光機、スコップ、ツルハシ、掛矢、水防シート、土のう袋、ロープ

事業費

総事業費	約5億円	復興交付金 旧合併特例事業債
------	------	-------------------

担当部署

- ・ 南相馬市復興企画部 危機管理課
Tel 0244-24-5232

34. 再生可能エネルギー基地整備事業 (完了)

福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、エネルギー転換を目指し、再生可能エネルギー基地を整備し、エネルギーを地産地消できる環境づくりを目指します。

事業概要

- 津波被害を受けた農地や未利用地を活用し、再生可能エネルギー基地を整備しました。
- 本市の消費電力に匹敵あるいはそれ以上の電力を再生可能エネルギーで生み出すことを目指します。
- 太陽光発電の用地は、防災集団移転促進事業（市事業）と土地改良事業（県事業）によって市が確保しました。
- 風力発電の用地は、沿岸部の市有地を利用しています。
- 太陽光発電及び風力発電の用地は、市が発電事業者に賃貸しています。

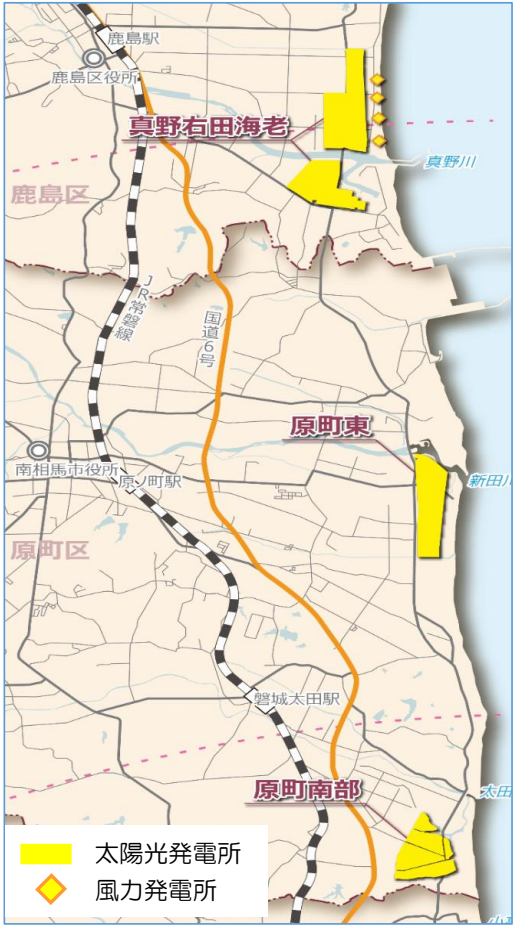
【再生可能エネルギー基地の規模】

・太陽光発電所

区	地区	事業用地	発電所出力
鹿島	真野右田海老	約110ha	59,900kW (一般家庭 約2万世帯分)
原町	原町東	約46ha	32,300kW (一般家庭 約1万世帯分)
	原町南部	約52ha	36,200kW (一般家庭 約1.2万世帯分)

・風力発電所

区	地区	基数	発電所出力
鹿島	南海老・北右田・南右田	4基	9,400kW (一般家庭 約4千世帯分)



スケジュール

【太陽光発電所】

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
事業用地確保	真野右田海老							
	原町東							
	原町南部							
整備工事	真野右田海老							
	原町東							
	原町南部							
運転開始	真野右田海老							
	原町東							
	原町南部							

【風力発電所】

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
事業用地確保								
整備工事								
運転開始								

担当部署

- 南相馬市市民生活部 環境政策課脱炭素社会推進係
Tel 0244-24-5248

発電所写真

【太陽光発電所】真野右田海老地区



【風力発電所】



35.公共施設再生可能エネルギー等導入事業 (完了)



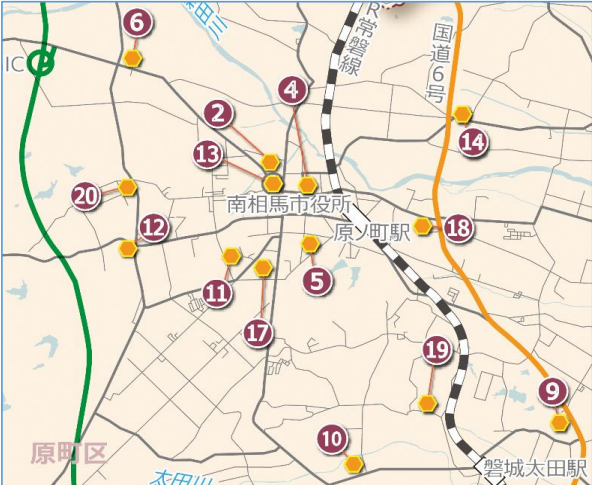
再生可能エネルギー等の地域資源を活用し、環境への負荷を減らします。

事業概要

事業費

事業年度	事業費
平成24年度	3百万円
平成25年度	145百万円
平成26年度	346百万円
平成27年度	412百万円
平成28年度	5百万円
平成29年度	267百万円

- 本市の再生可能エネルギーの推進や、災害時における防災拠点施設等の最低限の機能維持を図る観点から、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入を図ります。
- 福島県再生可能エネルギー導入等による防災拠点支援事業（市町村公共施設支援事業）補助金を活用し、公共施設へ太陽光発電設備及び蓄電池設備を導入しました。



スケジュール

No.	施設名	設備容量		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		太陽光 (kW)	蓄電池 (kWh)						
1	鹿島区役所	30.38	32.4						
2	原町保健センター	20	30						
3	鹿島保健センター	16	22						
4	原町第一小学校	20	22						
5	原町第二小学校	20	22						
6	石神第一小学校	20	22						
7	鹿島小学校	20	22						
8	上真野小学校	15.75	22						
9	大甕小学校	20	22						
10	太田小学校	16	22						
11	原町第三小学校	20.8	22						
12	石神第二小学校	20.8	22						
13	南相馬市役所	37.44	33						
14	高平小学校	20	22						
15	八沢小学校	20	22						
16	小高小学校	15.75	22						
17	原町第一中学校	20	20						
18	原町第二中学校	20	20						
19	原町第三中学校	20	20						
20	石神中学校	20	20						
21	鹿島中学校	20	20						
22	小高中学校	20	20						

設計 工事

担当部署

- 南相馬市市民生活部 環境政策課脱炭素社会推進係
Tel 0244-24-5248

36. 大町地域交流センター整備事業（完了）



地域住民のコミュニティの拠点となる施設を整備しました。

事業概要

- 大町地区災害公営住宅整備に併せて、新エネルギー（木質バイオマス）を活用する仕組みを取り入れた施設を整備しました。
- 木質バイオマスボイラーは自家発電機能を備えており、災害時にも施設を使用するための最低限の電力を得ることができます。
- 建物の入り口から内部は、全て段差のないバリアフリー構造になっています。



【施設の概要】

所在地	原町区大町二丁目110番地
構造	木造平屋建
施設の内容 (利用料)	会議室（400円/時間） 和室（100円/時間） コミュニティスペース（無料）
開館時間	9時から21時まで (コミュニティスペースは 平日の9時から17時まで)
休館日	12/29～1/3

スケジュール

項目	24年度	25年度	26年度	備考
実施設計	→			
建設工事		→		
供用開始			★	平成26年5月2日開所

完成写真



事業費

総事業費	約1.7億円	復興交付金 東日本大震災寄附金（日本郵政）
------	--------	--------------------------

担当部署

- 南相馬市農林水産部 農林整備課林業係
Tel 0244-24-5378

37. 小高区復興拠点施設整備事業（完了）

多世代が交流し、にぎわいを取り戻すための復興拠点施設を整備しました。

事業概要

- 多世代が地域内外の交流を広げ、地域の活性化と賑わいを創出することができる復興拠点施設を整備することで、交流による賑わいを高め、帰還意欲の向上を図るとともに、小高区を「持続可能なまち」にし、小高区の復興・再生を実現します。

施設概要

- (1) 所在地 小高区本町一丁目28番地
- (2) 施設愛称 小高交流センター
- (3) 整備面積 約5,900㎡（駐車場含む）
- (4) 施設構造 木造＋鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 平屋建て
- (5) 延べ床面積 約1,900㎡
- (6) 開所日 平成31年1月26日
- (7) 主な施設



対象	主な施設	面積
子ども、大人	多世代交流施設	395㎡
高齢者等	和室	56㎡
	エクササイズエリア	38㎡
	トレーニングエリア	49㎡
	多目的室（音楽等）	95㎡
	シャワー室	19㎡
	管理事務室	28㎡
子ども等	交流スペース	79㎡
	子育てサロン	218㎡
	多目的室	63㎡
施設を訪れた方	地域マルシェ	121㎡
	飲食〔カフェ〕（厨房等含む）	62㎡
	歴史文化展示室	37㎡
	チャレンジショップ〔飲食・物販販売〕（厨房等含む）	163㎡
小高はらっぱ		764㎡
イベント広場		190㎡

スケジュール

項目	27年度	28年度	29年度	30年度
基本設計		→		
実施設計			→	
建設工事				→
施設開所				★

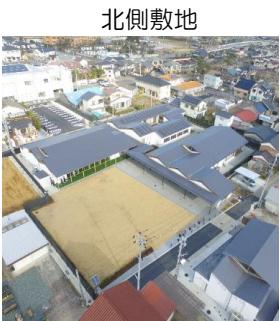
完成写真①



施設正面



南側敷地



北側敷地

完成写真②



多世代交流施設
(あそびばラシクル)



トレーニングエリア



交流スペース



子育てサロン

事業費

総事業費 約16.9億円 福島再生加速化交付金

担当部署

- 南相馬市小高区地域振興課（小高交流センター内）
Tel 0244-32-1124

38. かしま交流センター整備事業（完了）

東日本大震災により被災した地域住民の交流施設を復旧しました。



事業概要

- 震災後、地域に仮設住宅や災害・復興公営住宅等が建設され、避難者が新たに移り住んできたことに伴い、避難者同士や地域住民との交流の場が求められており、これらの状況を踏まえ、既存施設を改築することにより、新たな交流施設を整備しました。
- 平成26年9月30日より「かしま交流センター」として開所しました。

【施設の概要】

所在地	鹿島区横手字川原186-1
構造	RC造2階建て
建築面積	579.49㎡
延べ床面積	896.33㎡
施設内容	大ホール、中会議室 小会議室、和室、相談室

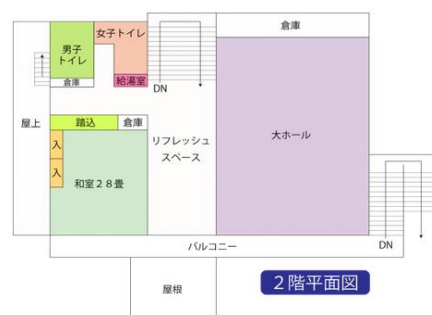


完成写真

【外観】



【館内図】



スケジュール

項目	24年度	25年度	26年度
実施設計		→	
地質調査		→	
解体工事		→	
改築工事		→	→

事業費

総事業費	約3.7億円	復興交付金
------	--------	-------

担当部署

- 南相馬市鹿島区地域振興課
Tel 0244-46-2110

39. 萱浜地区研究・調査関連施設整備事業（完了）



原子力発電所の監視や相双地域のモニタリング管理、農業再生に向けた研究などを行う施設が萱浜地区に整備されました。

萱浜地区研究・調査関連施設整備

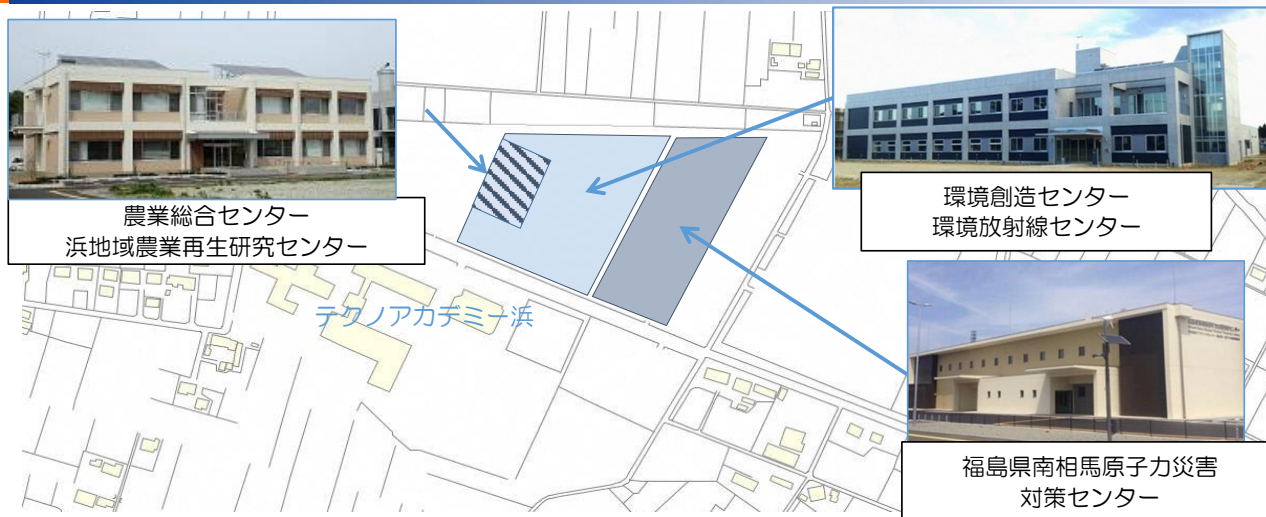
- 福島第一原子力発電所事故により大きな被害を受けている相双地方が抱える様々な問題を解決していくために、放射線に関する調査分析や研究、原子力発電所で災害が発生した場合に応急対策の活動拠点となる施設が萱浜地区に整備されました。
- 県の環境創造センター環境放射線センターの他、南相馬原子力災害対策センター（南相馬オフサイトセンター）、浜地域農業再生研究センターが開所し、放射性物質対策関係の拠点が集積しています。



各施設の整備概要

施設名	施設概要	施設規模 (延床面積)	施設の内容	開所
福島県南相馬原子力災害対策センター	RC地上2階建 地下1階	3,572㎡	会議室、除染室、プレスルーム、 仮眠室、資機材倉庫、食糧保管庫等	平成28年7月
環境創造センター 環境放射線センター	本館(RC2階建) 校正施設(RC1階建) 車庫棟(鉄骨造)	2,942㎡ 455㎡ 300㎡	事務室、会議室、 分析室、校正施設等	平成27年11月
浜地域農業 再生研究センター	研究棟(RC2階建) 作業棟(鉄骨平屋建)	810㎡ 215㎡	放射能計測室、分析室、 試料保管室、情報解析室等	平成28年3月

各施設の位置図及び完成写真



担当部署

【浜地域農業再生研究センターに関すること】

- 福島県農業総合センター
浜地域農業再生研究センター
Tel 0244-26-9562

【環境創造センター環境放射線センターに関すること】

- 福島県環境創造センター環境放射線センター総務課
Tel 0244-32-0800

【福島県南相馬原子力災害対策センターに関すること】

- 福島県危機管理部原子力安全対策課
Tel 024-521-7254

100年のまちづくり
～家族や友人とともに暮らすまち～



南相馬市復興関連事業概要

【編集・発行】福島県南相馬市復興企画部イノベーション政策課

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町2-27
TEL : 0244-22-2111 (代表)